

豊かで安全な
日本を考える

サステナビリティ・サイエンスの挑戦

入場
無料

2012年2月11日(土) 13:00~17:00 [開場12:00]
東京大学 安田講堂

平成23年3月11日に東日本を襲った未曾有の大災害。現地では、懸命な復旧・復興作業が続いておりますが、都市や農村漁村を再建するだけにとどまらず、総合的な見地から困難を克服し、新しいビジョンやアイデアを持って日本が再生することを願わずにはおれません。今回の大震災は、被災の状況が多様で広範囲に及んでおり、自然、社会、個人の調和を保ちつつ、以前にも増して豊かで安全な日本を取りもどすための取り組みが不可欠です。サステナビリティ・サイエンスの理念と方法に立脚した新しい持続型社会の構築のため、我々が今、震災復興のために出来ることは何なのかを探ります。

▼ プログラム

開会挨拶

13:00-13:15 住 明正 (東京大学サステナビリティ学連携研究機構教授)

講演

13:15-13:45 「日本「再創造」—プラチナ社会の実現に向けて」小宮山 宏 (サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム理事長/東京大学総長顧問/三菱総合研究所理事長)

13:45-14:15 「生態系・生物多様性を生かした震災復興」中静 透 (東北大学大学院生命科学研究科教授)

14:15-14:45 「里海と人々の暮らしを取りもどす」あん・まくだなど (上智大学大学院地球環境学研究科教授/国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長)

14:45-15:15 「里山・里海連携による三陸復興国立公園(仮称)の展開」渡邊 綱男 (環境省自然環境局局長)

15:15-15:35 休 憩

パネルディスカッション「東日本大震災の復興を契機として未来に挑戦する」

15:35-17:00 ●モデレーター：武内 和彦 (東京大学サステナビリティ学連携研究機構副機構長/国際連合大学副学長)

●パネリスト：上記講演者のうち、中静 透、あん・まくだなど、渡邊 綱男の3名/大竹 二雄 (東京大学国際沿岸海洋研究センター・センター長)

●東京大学ではウォームビズを実施しておりますので、当日は暖かめの服装でお越し下さい。●講演タイトル・内容は、予告なく変更される場合がございますので、予めご了承下さい。

主催 東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) / 一般社団法人サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム (SSC)

後援 日本経済新聞社

